

平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 八幡台 小学校
校長氏名	塩谷 通功
作成日	平成 30 年 (2018年) 1 月 31 日

1 教育目標

「強く・正しく・美しい心を持つ、健全な子どもの育成」をめざし、児童がいきいきと活動できる教育課程の編成・実施・評価の取り組みを進める。すべての教育活動において、心身ともにたくましく、意欲を持って、粘り強く考える子供の育成に努め、確かな学力と豊かな心、健やかな身体に支えられた「生きる力」の育成をはかる。

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>○保護者、地域の方々との連携を深め、信頼関係を築く。</p> <p>○地域共有コミュニティー等地域人材活用ネットワークを活かし、教育活動の充実・発展を図る。</p> <p>○学校運営協議会と連携・協働し、地域とともにある学校づくりをめざす。</p>	<p>○教育活動全般を通して人権意識の向上を図る。</p> <p>○道徳教育の充実を図り、個々の実態に応じた判断力・行動力を養う。</p> <p>○挨拶や掃除等に進んで取り組む児童を育てる。</p>	<p>○学習に主体的に取り組み、自分の考えを表現できる力を身に付けさせるため、授業改善に取り組む。</p> <p>○朝学タイム、八幡台タイム、フォローアップの時間等を活用し、学力の向上に取り組む。</p> <p>○家庭学習や自学ノートの手引き書を配布し、家庭学習の定着と充実に取り組む。</p>
取組の状況【D】	<p>学校の取組みや子供の様子など、学校だより・学年だより・ホームページ等を通して、できるだけ詳細に情報発信することに努めた。</p> <p>西脇地域共有協議会コーディネーターの協力のもと、外部人材を積極的に活用するなど、教育の質の向上に取り組んだ。学校運営協議会や学習参観を通して、学校運営状況に関しご意見をいただくよう努めた。</p>	<p>各教科や道徳の時間において、正しく判断し行動できる態度を育てるとともに、差別を許さない道徳的実践力の育成に努めた。</p> <p>また、児童会を中心に定期的なあいさつ運動に取り組んだ。平和集会・感謝集会などの全校的な取組みを通して、心の教育に取り組んだ。</p>	<p>学力フォローアップアドバイザーに、指導助言や講話をいただき、授業改善及び教師力の向上に取り組んだ。</p> <p>基礎学力の定着と向上を図るため、読書活動を含む朝学習や放課後の補充学習を行った。また、活用力の向上を図る取組みにも着手した。さらに、家庭学習の定着には、手引き書の配布、学校便りや懇談会等の機会を捉えて啓発に取り組んだ。</p>
取組の結果と課題【C】	<p>学校行事や教育講演会等では保護者や地域の方々にも多数参加していただき、学校の取組みを理解いただくうえで、効果的であった。西脇地域共有協議会では、校区探検、昔遊び、絵本の読み聞かせ、調理・裁縫の実習補助等にボランティアを派遣いただき、教育活動の充実を図ることができた。また、学校運営協議会委員が玄関付近花壇を整備するなど、環境整備にも力添えをいただいた。</p> <p>近隣校との連携についても、昨年度以上に交流を深めることができた。</p>	<p>各担任が種々の教育活動を通じ、子供達の心の教育に取り組む、思いやりのあるやさしい子供が育っている。しかしながら、気になる発言をする子供や問題行動を起こす子供も少なからずおり、引き続き、家庭と連携しながら心の教育や生活指導に取り組む必要がある。</p>	<p>学力調査結果において十分な状況とは言えないまでも、ここ3年の経年変化をみると、改善傾向にある。フォローアップ事業を活用し、授業力や教師力の向上につながっている。学力の定着を図るため、系統的な取り組みを継続するとともに、家庭学習の定着に向け、さらに取り組む必要がある。</p>
改善方法【A】	<p>学校の取組みを積極的に情報発信し、保護者や地域への理解を深めるとともに、将来の地域の担い手を育成するために、学校・保護者・地域それぞれの立場で何ができるかを、学校運営協議会において考える。</p>	<p>各学級・学年において挨拶や言葉遣いの指導を強化するとともに、全校的な取組み(挨拶運動・集会等)をとおして、心を耕す教育のより一層の充実に努める。</p>	<p>今年度構築した、授業力向上研修体制を引き続き取り組む。また、学力の更なる向上をめざし、学力向上担当を中心に、学級単位の取組みから、学校全体への取組みへ、確実に成果をあげる体制づくりを行う。家庭での学習習慣の定着については、うちがくノートなどの新たな取り組みを継続しつつ、さらに定着を図るため、家庭の協力が得られる方策の検討が必要である。</p>

3 その他の課題

・和歌山市共有コミュニティー推進事業を通して、地域の方による読み聞かせや町探検、昔遊びなど地域のボランティアの協力を得て、教育活動が有効に機能している。今後、さらに地域と連携した取り組みの拡充を図っていきたい。

・登下校時や帰宅後の事故・怪我を防止すべく、地域守り隊の方々やPTAの協力を得つつ、学校としても登下校指導の徹底を図ってきた結果、重大な事故・事件の発生には至らなかった。また、生活上の基本である、安全教育、健康教育、食の教育の充実には、今後も力を入れて取り組んでいきたい。

・学習指導及び生活指導の課題が散見する中、教職員が同じベクトルで課題解決に向かうとともに、校内の指導・支援体制を強化する。また、教育委員会をはじめ、引き続き関係機関と連携しながら課題解決に取り組んでいく。